

第五次大村市行政改革大綱を策定しました

市民の目線に立った行政改革を!!



? これまでの行政改革の成果は?

平成18年度から22年度を計画期間とした「第四次行政改革」では、市財政の健全化を最優先課題としました。平成21年度までの4年間で、5年間の目標である54億9,067万円を上回る64億6,433万円の削減効果額を達成し、当面の財政危機を回避しました。

? これからも行政改革をする必要があるの?

景気低迷、少子高齢化、国が推進する地域主権改革など、市を取り巻く環境は変化を続け、対応すべき新たな課題が生じています。

このような急激な社会情勢の変化に対応していくためには、更なる行政改革に取り組み、効果的・効率的な行政システムを確立していく必要があります。

? 第五次大村市行政改革大綱とは?

平成23年度から27年度までに取り組むべき行政改革の基本項目を掲げたものです。今後、この大綱に基づき実施計画書を策定し、具体的な改善・改革策や目標効果額を設定します。

? 今回の行政改革の考え方は?

- ① 市民目線に立った創意工夫により、最少の経費で最大の効果をあげる改革
 - ② 市民と行政との協働を取り入れながら、地域の諸課題を解決する協働型市政の実現
- これら2つを基本的な考え方にしています。

? 大綱はどうやって作ったの?

市内外の有識者と公募による市民14人で構成する「大村市行政改革懇話会」からの提言を尊重しながら、また、議会への説明やパブリックコメントの実施を経て策定しました。

最少の経費で
最大の効果を

これからは
行政と市民との
協働型市政を



第五次大村市行政改革大綱の4つのテーマと主な取り組み

1 健全な財政運営

市の財政健全化の基本方針である、「将来にわたり持続可能な財政運営と、新たな市民ニーズに的確に対応できる柔軟な財政構造」を構築するため、収支均衡型の財政運営を目指します。

(1) 歳入確保策の主な取り組み

- ◆市税、住宅使用料、保育料などの収納率向上策の徹底
- ◆未利用公有地の積極的な売却および有償貸付の推進
- ◆使用料の4年毎の見直し
- ◆企業誘致や地場産業育成の強化
- ◆大村市ふるさとづくり寄附制度のPR強化
- ◆**(2) 歳出削減策の主な取り組み**
- ◆医療・介護などの予防対策強化による扶助費の抑制
- ◆※アセットマネジメント計画の策定
- ◆※公共施設の安全性や利用者満足度を確保しながら、計画的な施設の更新、維持経費の低減など、施設を最適な状態で有効活用する管理手法
- ◆定員管理と給与の適正化による人件費の抑制

2 行政経営システムの確立

地方自治は新たな時代を迎えており、行政サービスの提供に際して、地方自治体は、これまでの「行政運営」から、コストを意識した効果的・効率的な行政サービスを選択していくという意味での「行政経営」への転換が求められています。

(1) 行政評価システムの充実強化

- ◆事業効果についての評価・検証の徹底
- ◆市民目線に立った客観的な評価を取り入れるため、外部評価制度の導入検討

(2) 民間活力の導入

- ◆更なる民間委託の推進
- ◆市民サービス向上とコスト縮減の視点から十分な検討を行い実施する。
- ◆委託後の実態把握と実績評価を徹底する。

(3) 電子自治体の推進

- ◆オンライン申請などの行政業務電子化の推進
- ◆情報システムの共同利用による集約化

(4) 公営企業等の経営健全化

- ◆水道事業、下水道事業、病院事業、モーターボート競走事業の更なる経営健全化
- ◆第3セクターの経営健全化や経営の在り方の再点検

3 市民との協働型市政の推進

これまでの公共サービスは、行政が主体となっていたりしてきましたが、多種多様化する地域の諸課題を効果的・効率的に解決することが困難な状況となっています。

これからは行政と市民・地域団体・NPOなどが協力・連携し、自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことが求められています。

◆自治基本条例の検討

- ◆市民の視点から事業提案を行う制度の導入
- ◆市民協働に係る交流や研修会を通じての担い手の育成
- ◆ボランティア銀行の創設

4 組織力・職員力の向上

更なる組織力・職員力の向上を図り、限られた人員や予算で大きな価値を創出できるように努めるとともに、職員の「やる気」を生み出す仕組みづくりを目指します。

(1) 組織力の向上

- ◆機構改革の実施
- ◆横断的な人材活用を可能とする「グループ制」の全課導入
- ◆全庁的なプロジェクトチームの設置

(2) 職員力の向上と人材育成

- ◆全職員を対象とした人事評価システムの導入
- ◆OJT（職場内研修）機能の強化と年齢職位に応じた職員研修の実施
- ◆職員のコスト意識の更なる向上